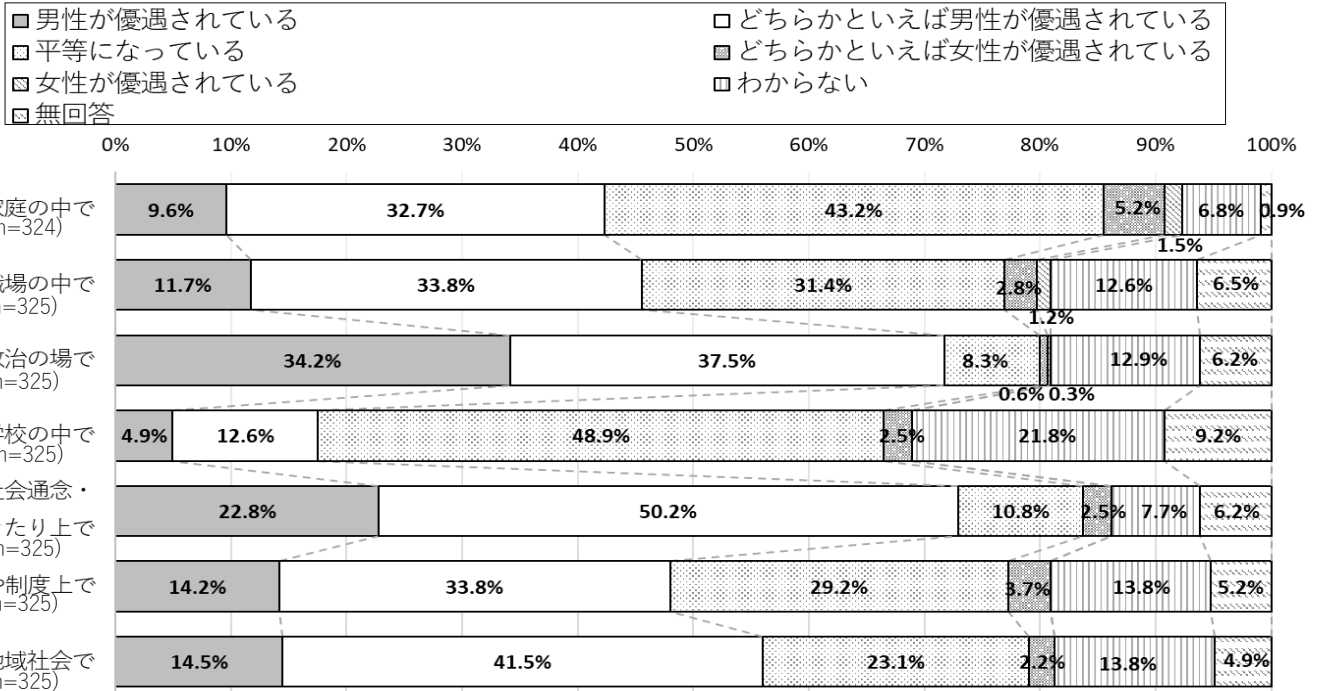


令和3年度伊達市男女共同参画に関する市民アンケート調査報告書（概要版）

【調査の概要】

- 対象：伊達市内在住の18歳以上の市民1,000人（男女各500人）を対象に実施（無作為抽出）
- 回答状況：325人（男性：136人、女性：156人、その他：0人、性別無回答：33人）
- 回収率：32.5%（男性：27.2%、女性：31.2%）

●次の各分野で男女が平等になっていると思いますか。

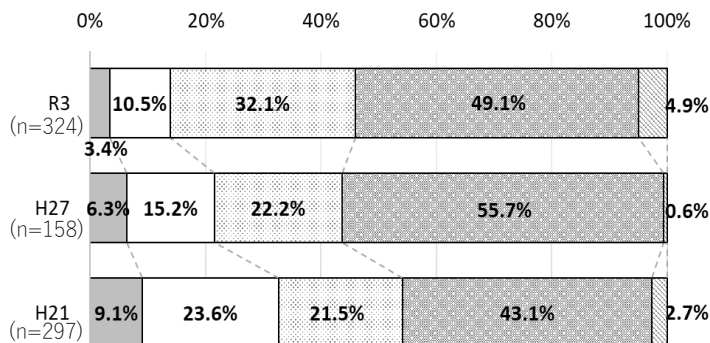


「①家庭の中で」と「④学校の中で」は、「平等になっている」が最も高くなっていますが、その他の分野では、「男性が優遇されている」又は「どちらかといえば男性が優遇されている」の方が高くなっています。

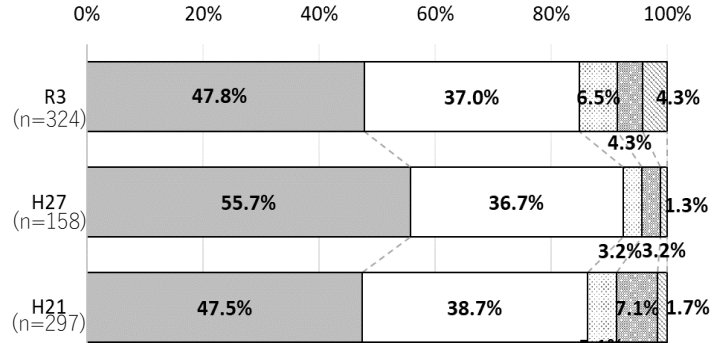
●次の項目について、どう思いますか？

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそうは思わない ☐ そう思わない ☐ 無回答

<男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだ>



<男性も家事や子育てなどの家庭の責任を分担して担うべきだ>



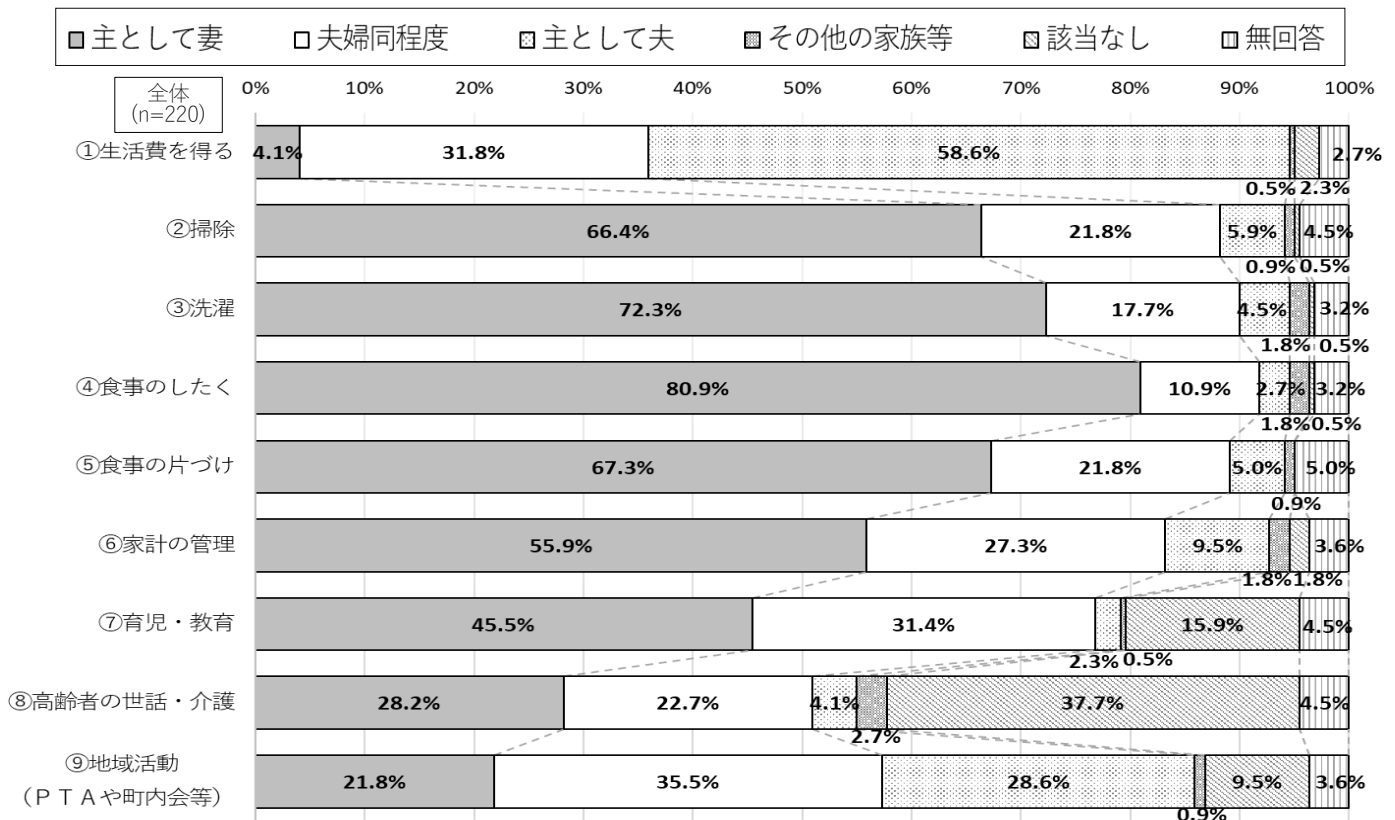
<男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだ>

“そう思わない”又は“どちらかといえばそうは思わない”と回答した人が増加しており、今回の調査では8割を超えています。

<男性も家事や子育てなどの家庭の責任を分担して担うべきだ>

“そう思う”又は“どちらかといえばそう思う”と回答した割合が8割を超えています。平成27年と比べると減少しています。

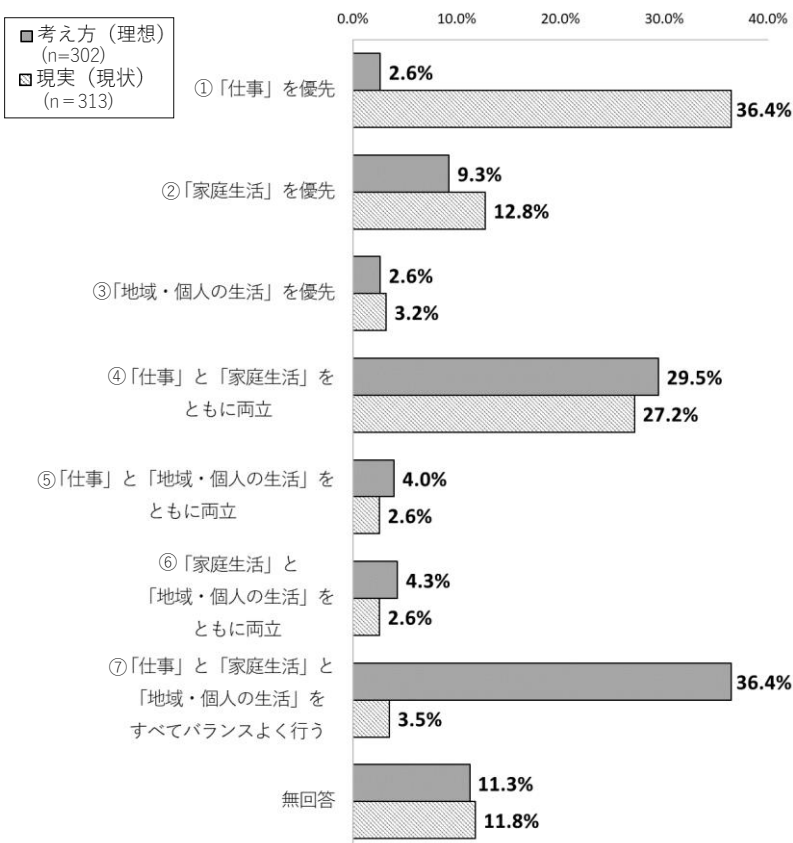
●次の項目の仕事は、夫婦のうちどちらが主に担当されていますか。



〈②掃除〉、〈③洗濯〉、〈④食事のしたく〉、〈⑤食事の片づけ〉、〈⑥家計の管理〉、〈⑦育児・教育〉については、“主として妻”と回答した割合が最も高く、4割を超えています。〈⑧高齢者の世話・介護〉も、“該当なし”を除くと“主として妻”が最も高くなっています。

一方、〈①生活費を得る〉については、“主として夫”と回答した割合が最も高く、5割を超えており、〈⑨地域活動〉は、“夫婦同程度”が最も高くなっています。

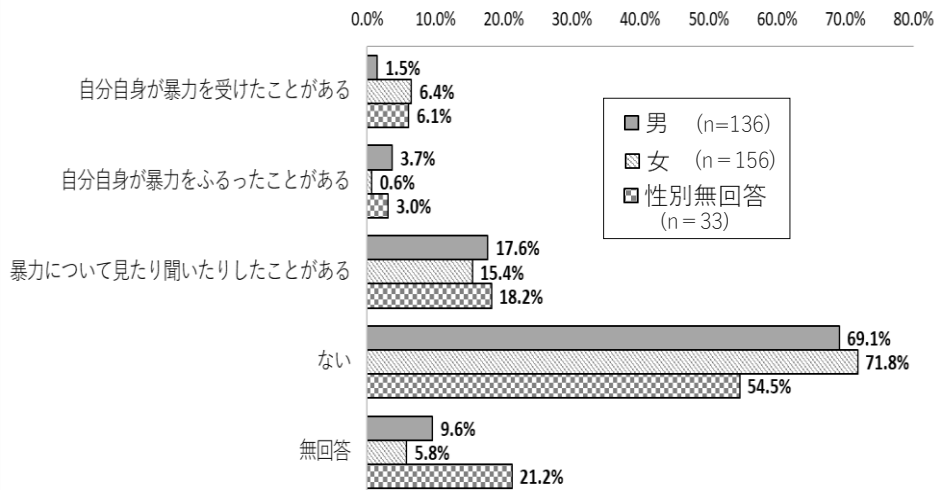
●仕事と生活について、あなたの考え方（理想）と現実（現状）に最も近いものはどれですか。



〈考え方（理想）〉では、“⑦「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をすべてバランスよく行う”が、36.4%と最も高く、次いで“④「仕事」と「家庭生活」をともに両立”が29.5%、“②「家庭生活」を優先”が9.3%と続いています。

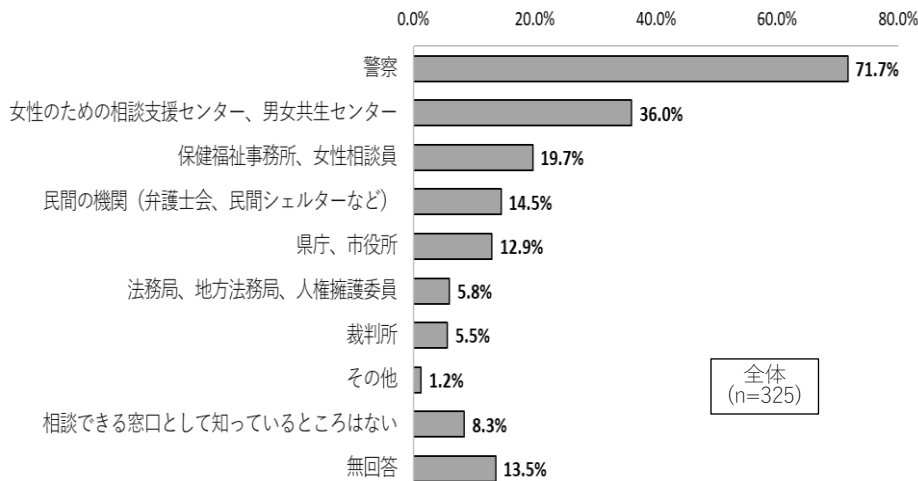
〈現実（現状）〉では、“①「仕事」を優先”が36.4%と最も高く、次いで“④「仕事」と「家庭生活」をともに両立”が27.2%、“②「家庭生活」を優先”が12.8%と続いています。

●DVが社会問題になっていますが、あなたの身近にこのような暴力がありますか。



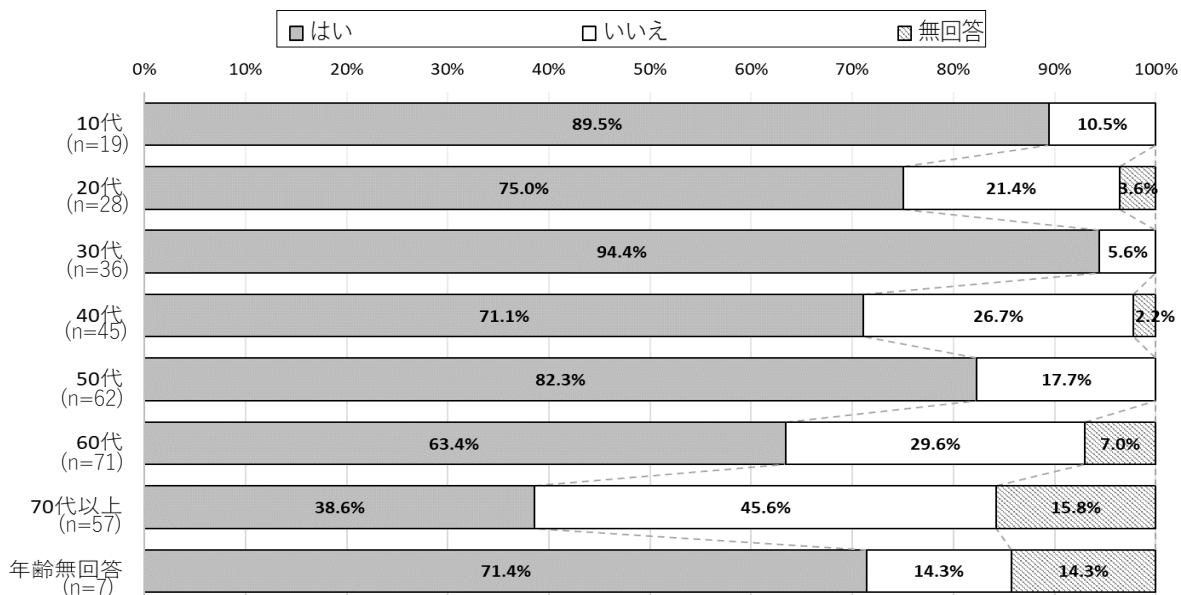
“自分自身が暴力を受けたことがある”と回答した女性は6.4%、男性は1.5%となっています。男性より女性の方が“自分自身が暴力を受けたことがある”と回答した割合が高くなっています。

●配偶者等からの暴力について相談できる窓口として、どのようなものを知っていますか。



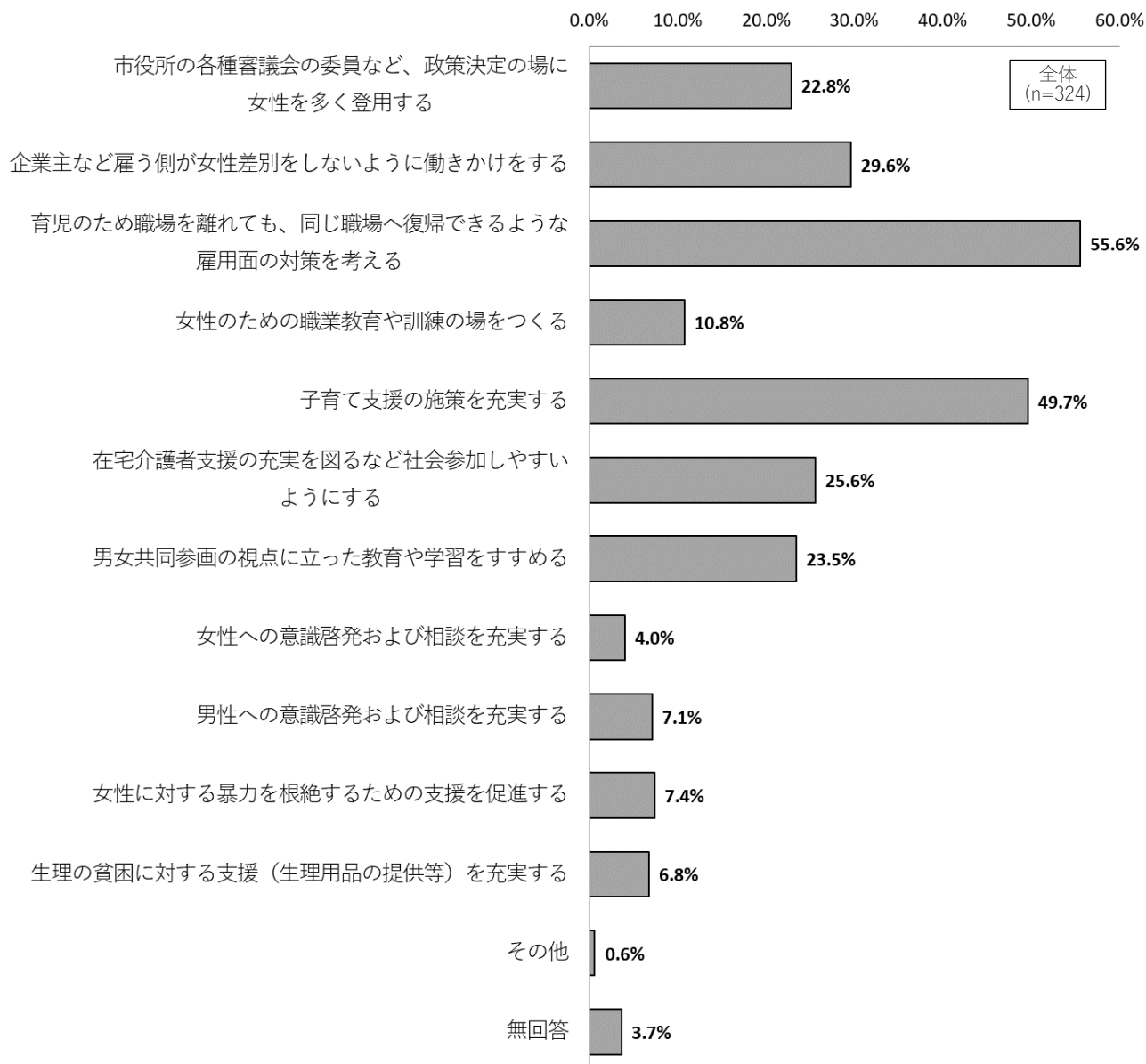
“警察”と回答した割合が71.7%と最も高く、次いで“女性のための相談支援センター、男女共生センター”が36.0%、“保健福祉事務所、女性相談員”が19.7%と続いています。

●あなたは、性的マイノリティ（またはLGBT等）という言葉を知っていますか。



50代以下では、“はい”と回答した割合が7割を超えており、30代では9割を超えています。一方、70代以上では4割以下となっています。

●男女共同参画社会の実現のため、行政に対してどのようなことを要望しますか。



“育児のため職場を離れても、同じ職場へ復帰できるような雇用面の対策を考える”と回答した割合が55.6%と最も高く、次いで“子育て支援の施策を充実する”が49.7%、“企業主など雇う側が女性差別をしないように働きかけをする”が29.6%と続いています。

作成：伊達市未来政策部協働まちづくり課

〒960-0692 伊達市保原町字舟橋 180 番地

TEL：024-575-1177 FAX：024-575-2570

E-mail: kyodou@city.fukushima-date.lg.jp

伊達市ウェブサイト：<https://www.city.fukushima-date.lg.jp/>